

中小病院の

「困った」を解決。

一般科病院用
電子カルテシステム

医次元
-IJIGEN-

<https://ijigen.jp/>



株式会社 イジゲンは
地域中小病院経営支援に力をいれています。

株式会社イジゲンは2018年の会社設立以来、200床以下の中小病院を中心に、多くの病院の経営支援を実施して参りました。当社には経営サイドの課題対応は勿論のこと、現場サイドの実務課題の対応まで、幅広い支援実績と実務ノウハウが蓄積されております。

医次元

-IJIGEN-

中小病院のために導入コストを抑えて 必要な機能を厳選した電子カルテです。

中小病院は、人的資源不足、取引ボリュームの小ささ等々の理由により、各種取引交渉において、圧倒的に不利な状況となっているケースが多く見受けられます。地域医療構想等の医療制度再編の中で、中小病院は今後、より厳しい経営環境となっていくことが予想されます。

弊社は、そうした中小病院の支援を行っており、「病院サイドからの視点で、必要なサービスを絞り、適正価格で」提供していくことを基本コンセプトとしています。



特長1 価格 PRICE

提供する付加価値に見合った
適正価格での販売



特長2 機能 FUNCTION

無駄を省き、実務上必要な
機能に絞りつつUIを重視



特長3 サポート SUPPORT

電子カルテの活用を重視し
運用支援サービスを提供

医次元の導入で実現できること

-IJIGEN-

01

UP!

情報共有の
スピードと正確性が
「あがる」

電子カルテからオーダリングの
導入、サブシステムとの接続が
全てできます。

02

UP!

職員の生産性が
「あがる」

標準化されていなかった業務も
電子カルテ導入を前提に
整理されます。

03

UP!

病院運営の
レベルが「あがる」

導入後運用支援により、
トラブル防止・経営効率化・収益増
等々の導入効果を出します。

特長1 価格 PRICE

提供する付加価値に見合った 適正価格での販売

中小病院の電子カルテ未導入率は、2015年時点で約18%と低い導入率となっており、その理由は「コストの高さ」が大きな要因となっています。弊社は、中小病院の経営状況から逆算して価格設定をしており、**大手電子カルテの半額以下※1**で提供が可能です。

※1. ソフトウェア、ハードウェアの金額(但し、ネットワーク工事は除く)

	当社	大手A社	大手B社
導入・運用費用	◎	△	○
カスタマイズ	△	◎	○
部門システム接続	○	○	△
保守対応	○	○	◎
導入期間	◎	○	△

特長2 機能 FUNCTION

無駄を省き、実務上必要な 機能に絞りつつ、UIを重視

電子カルテは、コモディティ化が進み、機能や品質面での差異は縮小しております。弊社は、これまでの中小病院支援の実績から、特に**現場の使いやすさを重視し、UI(ユーザーインターフェース)の優れた電子カルテを厳選**しております。

医次元 -IJIGEN-

電子カルテシステム

オーダー			サブシステム	病棟機能
<ul style="list-style-type: none"> ● 処方 ● 処置 ● 細菌 ● 内視鏡検査 	<ul style="list-style-type: none"> ● 注射 ● 指導 ● 検体検査 ● 手術 	<ul style="list-style-type: none"> ● 放射線 ● 病理 ● 生理検査 ● 麻酔 	<ul style="list-style-type: none"> ● 診察券発行 ● セキュアシステム 	<ul style="list-style-type: none"> ● 入退院 ● 部屋移動
カルテ機能				
<ul style="list-style-type: none"> ● SOAP記載 ● 外来管理機能 ● 文書管理 	<ul style="list-style-type: none"> ● カレンダー表示 ● テンプレート ● クリニカルパス 	<ul style="list-style-type: none"> ● 入力支援 ● 病棟管理機能 ● オーダーカレンダー 	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期処方 ● 病名 ● 薬剤チェック 	<ul style="list-style-type: none"> ● シェーマ ● 薬歴
看護支援システム				調剤部門システム
<ul style="list-style-type: none"> ● 勤務管理 ● 温度板 	<ul style="list-style-type: none"> ● 看護計画 ● 看護日誌 	<ul style="list-style-type: none"> ● 空床管理 	<ul style="list-style-type: none"> ● 看護記録 	<ul style="list-style-type: none"> ● 処方連携 ● 注射連携

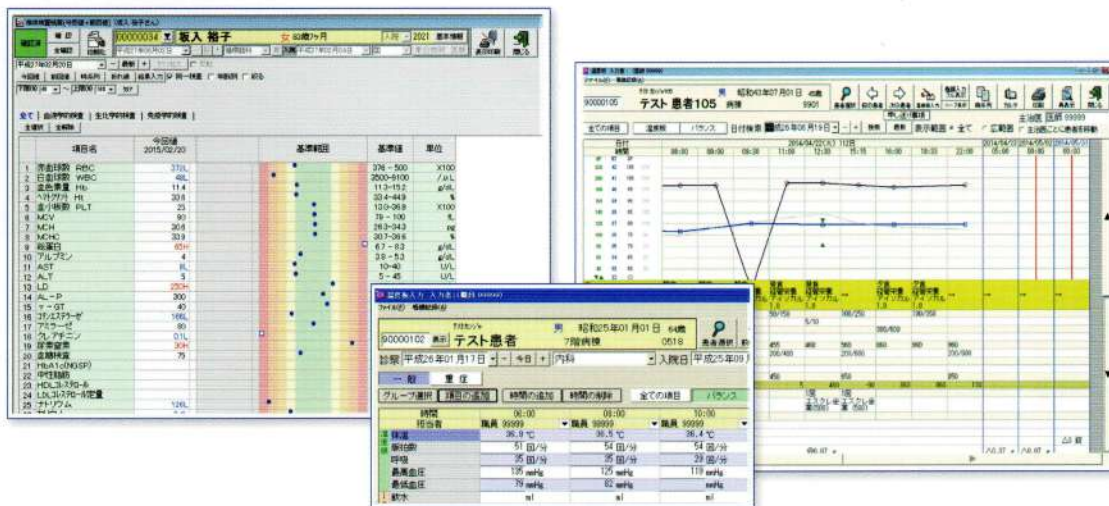
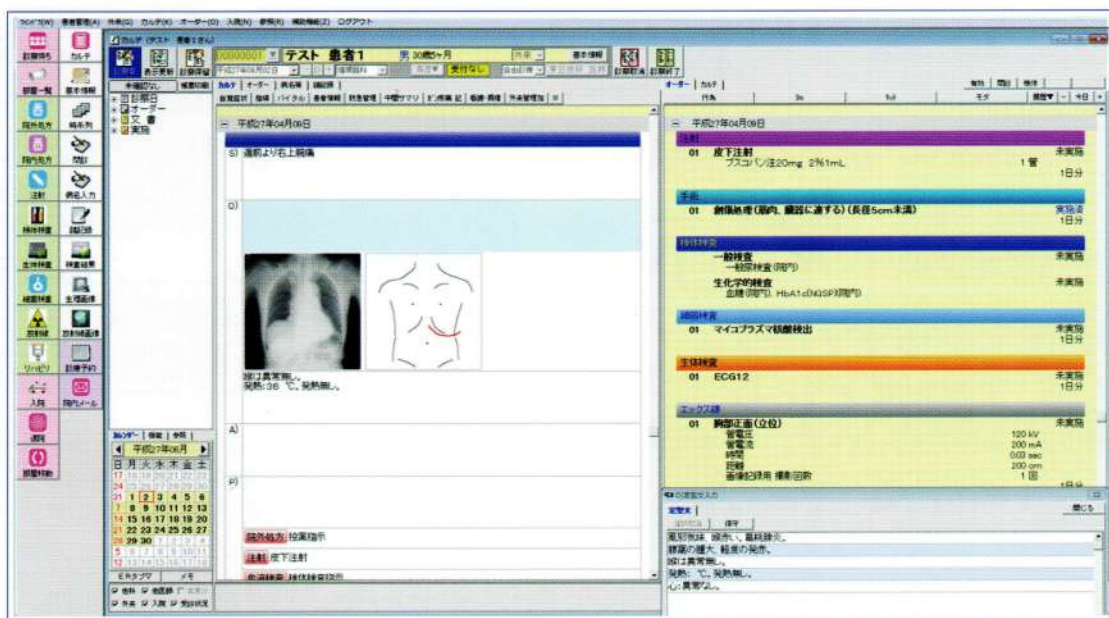
一般科専用 医次元の機能

- IJIGEN -

機能
FUNCTION
01

患者様一人ひとりの診療録やステータスを 一画面で素早く把握

患者様の診療録やステータスを一画面に表示し、短時間で状態を把握することができます。全てのスタッフが同じ画面を閲覧し、同時に更新することで情報共有を素早く行うことができます。だれでも直観的な操作ができるようにユーザーインターフェースにはこだわっており、画像の扱いも簡単で、様々な情報を素早く把握できます。



電子カルテ導入で、チーム医療連携がスムーズに

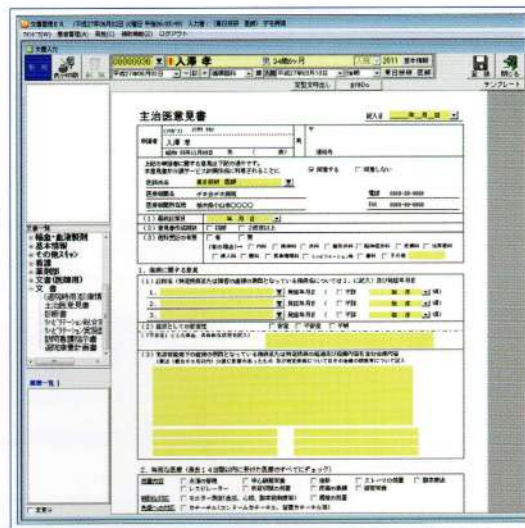
診察記事や各種オーダー記事から、看護記録、MSW記録まで、患者様に関わる全ての記録を統合表示しています。部門記録は作成・登録時に主治医への報告もでき、その報告内容を元としたカルテ記事作成も行うことができます。業務効率化が図れるだけでなく、伝達漏れや伝達ミス防止にも繋がります。

機能
FUNCTION

02

紹介状や診断書等の膨大な医療文書作成の負担を軽減!

カルテ内の患者情報を抽出した文書の自動作成や、作成済み文書の参照や文書のステータス管理が可能です。
印刷イメージで登録可能になっています。



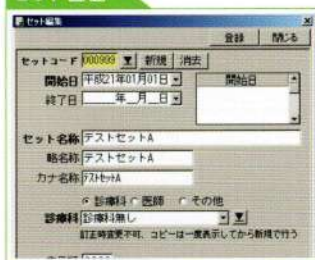
機能
FUNCTION

03

病院様独自のテンプレート作成によりカルテ入力の負担を軽減!

自由にカスタマイズできるテンプレートを利用してカルテ記事作成の効率化が図れます。項目に沿って入力・選択するのみで記事作成が行えるため、記載漏れを防げます。標準搭載されているテンプレートは診療科や担当者ごとに診察体系に合わせた条件設定やカルテテンプレートを設定できます。

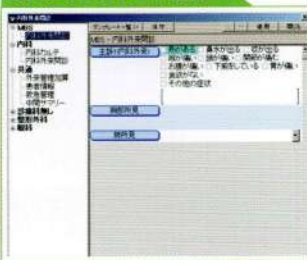
セット画面



付箋一覧画面



カルテテンプレート画面



依頼紙イメージ画面

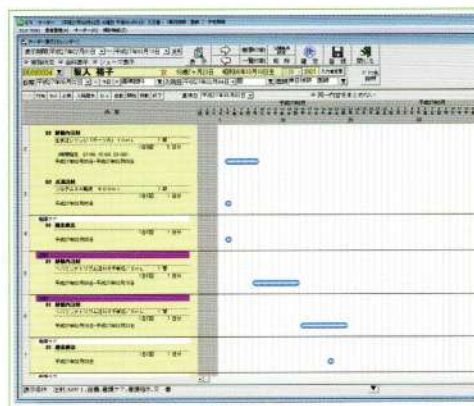


機能
FUNCTION

04

オーダーカレンダー機能

期間内のオーダーを視覚的に表示してあり、中断や訂正も簡単に行うことができます。また行為を絞り込みして表示することもできます。病棟や病室毎に担当患者をリスト表示し、カルテ入力や看護師の実施入力等の各種データ入力、参照、検索等を一括で行うことができます。患者カルテを一つずつ開いて入力する必要はございません。



機能
FUNCTION
05

豊富な部門システムと拡張性

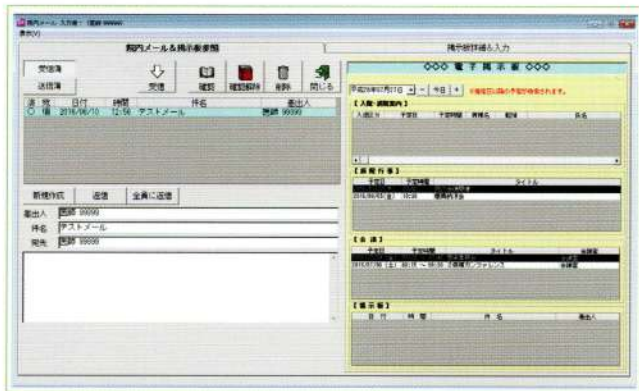
地域性や病院規模により、電子カルテに求められるニーズはそれぞれ異なります。基本機能とは別に看護支援システム、リハビリ支援システム、調剤システム、栄養管理システム、勤務予定表管理システム、臨床検査システムに至るまで、病院運営に必要な構成となるよう、きめ細やかにご対応させていただきます。また、既存の部門システムを活かした部門連携システムの構築も行います。



機能
FUNCTION
06

院内メールや掲示板によるコミュニケーション

オーダリングにログインした際にメール情報を表示するようになっております。これにより新着メールがある場合は自動的に表示されます。オーダリングと一体化した情報共有ツールとして有効活用できます。口頭指示によるインシデント抑制にもつながります。



メール機能

掲示板機能

会議室予約機能

オーダリング端末があれば
どこでも閲覧可能

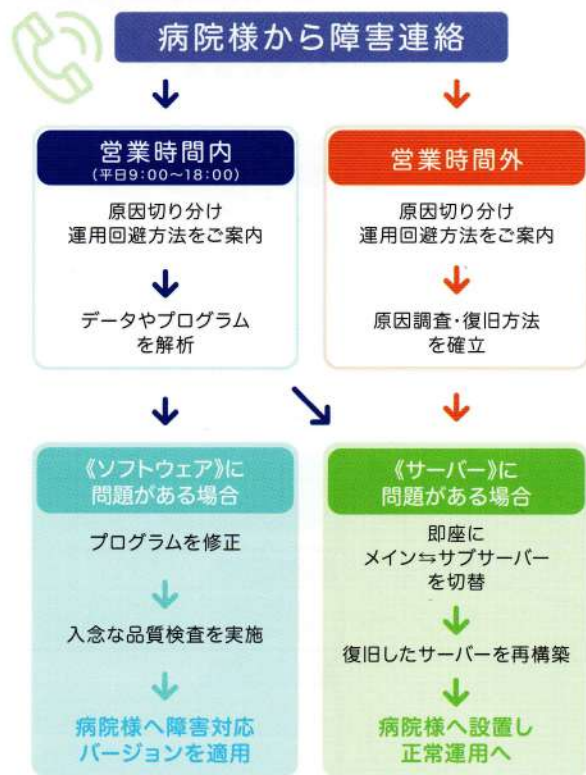


特3長 サポート SUPPORT

電子カルテの活用を重視し、運用支援サービスを提供

病院様に、安心して長く医次元をご利用いただけるように、万全のサポート体制を設けております(緊急時には24時間365日対応)。操作方法、端末トラブル、システムトラブル等のお問合せに専任チームが迅速に対応いたします。

「障害対応」の流れ 24時間365日対応



「リモート保守」について 安全・正確・迅速対応

VPN接続^(※)を利用したリモートアクセスにより、システムトラブルの即時対応を行います。

※VPN接続は暗号化等のセキュリティ対策が取られているため、安全にデータをやり取りすることができます。



リモート保守の流れ

- 01 お電話**
病院内の環境にて発生した障害状況、お困りの内容等を医次元サポートまでお電話にてご連絡ください。
- 02 状況確認**
障害発生状況について詳しくお電話にてお伺いし、解決しない場合はリモートアクセスでの確認となります。
- 03 リモートアクセス**
障害発生中のパソコンへのリモートアクセス許可を頂いてから、状況を確認いたします。
- 04 調査結果報告**
リモート操作にて対応できる解決方法をご案内し、障害対応を行います。
※調査結果によってはリモートでの解決ができない場合がございます。

サポート SUPPORT

01

経営分析BIツールをご提供

電子カルテの蓄積データを用いて、経営会議資料の作成も可能です。経営分析データの見える化を格安にてご提供いたします。

- 電子カルテ
- 看護
- 手術
- 給与・人事
- 経理



データを二次利用できるように整理。不要なデータと必要なデータの見極めを行い、データが閲覧しやすくなります。

データ活用

- ✓ 経営分析
- ✓ 診療分析
- ✓ 業務改善



医事課支援

導入後の診療報酬請求サポート、請求漏れ診断サポート等の業務改善をお手伝いいたします。

問題解決



不安解消

電子カルテ導入

- 操作
- マスタ整備
- 導入後の定期的な検証
- 現場立ち合い
- 帳票管理

レセプト業務

- 精度調査
- 請求漏れ
- 返戻査定
- 遠隔支援
- 環境整備

質向上

- 待ち時間調査
- CS・ES満足度調査
- 経営・収益・患者分析
- ベンチマーク
- 業務フローの点検
- 予約システム
- DPC導入検証
- 病棟運用・病棟再編
- 施設基準管理

医事業務

- 会議資料作成
- 未収金・現金管理
- 業務量調査
- 人員配置
- 労災・自賠責・生保管理

IT保守支援

電子カルテを導入・運用する病院には、管理責任者としてシステム担当が必要です。IT保守支援では、システム代行業務をお受けいたします。

- IT資産管理
- システム更新
- トラブル対応
- サーバーメンテ
- セキュリティ
- ベンダー管理

- システム更新
- サーバーメンテ
- IT資産管理
- セキュリティ
- トラブル対応
- ベンダー管理



業務を
外部委託



効果



経営資源の集中化

CENTRALIZE



コスト削減

COST DOWN



品質向上

QUALITY UP

電子カルテ導入の **3** つのコミット

- 1** 導入時の職員負担を極力軽減します。
- 2** 導入コスト削減のため、カスタマイズは最小限にし、導入期間を短縮します。
- 3** 導入後の運用支援により、トラブル防止・経営効率化・収益増等々の導入効果を出します。

SCHEDULE

導入スケジュール

導入前準備

契約手続
完了

プロジェクト体制の確定

「運用構築」までにプロジェクト体制の確定をお願いしております。導入開始直後から運用の検討(WG)が始まります。

キックオフ会議

電子カルテ導入全般での病院職員様の参加意識と活気溢れる導入とするために病院主体での開催をお願いしております。

現場運用調査

約3日間ヒアリングを行い、業務上の課題を共有させていただき、有用な医次元の運用フローをご提案します。

マスタ構築

部署別マスタ操作説明

運用フローに沿ったマスタの作成方法をお伝えいたします。(各部署1台のクライアント環境が必要)

マスタ構築

各部署にて、業務に関連するマスタ作成を行います。(導入スタッフはシステムのマスタ作成を担当)

ここでは、導入から本稼働までの流れについてご紹介します。

まず最初の導入前フェーズでは、プロジェクト体制の確立と現場調査をメインに行います。次に運用構築フェーズでは、検討した運用に基づいてマスタ構築を行いながら、操作に慣れていきます。その後、運用リハーサルを数回実施し、稼働前準備の実データ入力へと移行します。病院様毎の実業務に合わせて運用提案を行いますので、安心して本稼働を迎えることができます。

運用構築

部署別オリエンテーション(OR)

導入スケジュールと提案運用についてお伝えします。現場運用調査で出た課題及び提案内容を踏まえて各部署の課題を再確認します。

ワーキング・グループ(WG)

業務毎に関連部署が集まり、運用検討を行います。検討後、報告・承認を経てマスタ構築へ移行します。

院内発表会

WGで決定した内容・課題の再確認を行います。WG決定事項は今後の導入作業の基礎となります。

運用リハーサルの前提条件

新運用の周知、操作練習、マスタ登録完了、リハーサルシナリオの完成後、運用リハーサルを行います。

運用リハーサル(外来・入院)

部署間連携を主目的に実施します。
(導入スタッフはシステムサポートで参加)

操作教育

操作説明

医師向け、リーダー向けに操作説明を行います。一般職員はリーダーからOJT形式でお願いしております。

リハーサル説明

業務マニュアルに基づき、各部署にてリハーサルシナリオを作成します。(サンプルの資料提供あり)

運用試験

事前データ入力開始

稼働時の負担を軽減するため、オーダー入力や患者情報入力等を事前に行います。

電子運用へ段階移行

本稼働時の混乱を避けるため、連携システム別に「段階稼働」を行います。

実践練習期間・詳細運用の確定

病院単独で引き続きリハーサルを行うことで、運用の問題点の洗い出しと運用マニュアルの整備等、運用理解度の向上を図ります。

稼働前準備

本稼働

一般科病院用
電子カルテシステム

医次元
-IJIGEN-

株式会社 イジゲン

地域の医療を支える会社

販売代理店

社名 | 株式会社 イジゲン

所在 | 〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-27-10 MEDICAL MALL 9F

お問い合わせ | ☎ 03-6914-2377 ✉ info-ijigen@ijigen.jp

一般科病院用電子カルテシステム「医次元」HP

<https://ijigen.jp/>

